



終章

ヒトとモノとが行き交う宇陀

宇陀は、奈良盆地の東方にあり、河川や山々によって地理的にまとまりをもった自然豊かなところです。ここには、古くから豊かな文化が生まれ、さまざまな文化遺産が伝えられてきました。

また、宇陀は、その時々によって、ヒトとモノとが行き交う交通の要衝として、重要な役割を担ってきました。そのひとつ。今から1350年前、西暦672年には、天智天皇の後継をめぐって、古代史上最大の戦乱・壬申じんしんの乱がおこりました。宇陀もこの戦いの舞台であったことが『日本書紀』に記されています。

悠久の歴史を刻んできた宇陀。古代から現代まで、多くの人々が宇陀を駆けぬけてきました。神話や伝説の世界の人々、実在の人々、宇陀の歴史に欠くことのできない人々を「宇陀を駆けた人々」と題してご紹介してきました。その時々思いを馳せ、これまでにご紹介したゆかりの地を巡ってみませんか。